

ひらた里山の会の活動

ひらた自然体験教室に4校参加

平田総合支所企画の平田地区の自然環境を活かした小学生対象の学習プログラムに今年は4校6回の申し込みがあり、当会がサポートしました。

6/8南平田小学校4年生35名は 経ヶ蔵山登山後ひらた生涯学習センターにテントで一泊、翌9日 野外炊飯を実施しました。

6/30黒森小学校は3、4、5年生20名は雨天のため学習センターでのモルック



▲経ヶ蔵山登山に挑戦した南平田小4年生

体験に変更。学年混合チームに分かれて対戦した子どもたちは早く50点到達を目指すゲームに白熱していました。

7/5浜田小学校3年生27名と7/7南平田小学校3年生32名が水辺の楽校でオタマジャクシ観察や虫取りをして川遊びを体験しました。若浜小学校の8/31水辺の楽校は熱中症予防のため9月中旬に延期しました。



▲熱戦のモルック



▲箱眼鏡や網で生態観察

春の森の感謝祭

山楯竹林整備と当会の活動を多くの人に知ってもらい、会員らの交流を図るため、5月13日「春の森の感謝祭」を開催しました。



▲参加者にタケノコ採り指導

感染症対策が緩和され広く一般参加を募集したところ、78人が参加。家族連れなどタケノコ採り体験に来た方々の活躍で多くの収穫がありました。みはらし台では、採れたてのタケノコによる孟宗汁と佐藤(幸)副代表理事提供のつや姫でふくらとしたおにぎりが出来上がり、参加者は旬の味覚をいただきました。



▲孟宗汁におかわり

七夕飾り笹竹 5施設へ提供

季節の行事として地域の子どもたちに七夕を楽しんでもらうため、7/5七夕飾りの笹竹を檜橋の今井さん所有の竹林から提供いただき、メカニックから2tトラックをお借りして、5施設(平田保育園、松山保育園、南平田小学校、東部中学校、放デイならはし)へ合計17本の笹竹を運びました。後日保育園などから「大きくて立派な竹に子どもたちが喜んでいた」といったお礼の手紙が届きました。



▲4.5mの笹竹

東部中学校 地域を知る総合学習

7/19悠々の杜にて東部中学校生徒が地域の企業や団体の取り組みに参加する「地域を知る総合学習」を実施しました。



▲何の葉っぱかな？

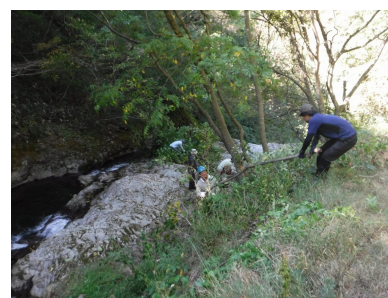
1年生51名は土砂降りの中、杉林の成長を促すための除伐作業を朝陽の森で実施しました。当会の会員が生徒たちの指導に当たり、マーキングされた支障木を生徒たちの手で伐採、枝切りをし、森の外へ運搬、集積しました。その後、アイアイひらた大研修室にて、森づくりアドバイザー/梅津勘一さんによる講和「里山って なーに？」にて、森の形成や植物の特徴、実生活での森を活かした取り組みなどを生徒たちに話していただきました。



▲雨にも負けず除伐体験

猛暑の十二滝整備ボランティア

8/27(日)酒田市の観光名所である十二滝周辺をより多くの人に親しんでもらえるように、整備活動を実施しました。



▲水汲みの滝周辺を景観美化

ボランティア参加者は27人は、遊歩道の草刈りと枝切り、水汲みの滝前の雑木を伐採、経ヶ蔵山登山道入口の草刈りの3グループに分かれて作業しました。今回の整備で水汲み滝に下りることが容易になり、滝の落ち口まで見通しも良くなりました。



▲猛暑の中、頑張りました！

南麓おばこ梅摘果、収穫支援

酒田酒造(株)所有の鳥海南麓梅畑でおばこ梅の摘果、収穫支援を実施した。南麓おばこは梅干しや梅酒、ジュースにしてもさわやかな酸味が効いて美味しいと高評価を得ている。

5/27、6/10は梅の実を大きくするための摘果作業(実と実の間隔を4cmに空ける)の参加者は2日間で27人でした。

7/8会員や一般参加者を募り31人で収穫作業を実施しました。収穫は梅の下にブルーシートを敷いて木を揺さぶり、落ちた梅の実を袋詰めする手順で行い、総重量310kgの梅が収穫、格安販売しました。



▲小さな実をそっと摘まんで



▲実を落として収穫

8/29 ラジコン草刈り機実証運転

(株)石井製作所が製造した「らじ刈る RTL-M1」の実証草刈り運転が悠々の杜とひらた石橋ソーラーファームにて行われた。

東北公益文科大学 広崎心准教授と学生1名、当会の理事5名が立ち会った。

バッテリー式の草刈り機の作業時間は90分、リモコンを使って操作する。ゴムクローラーに電磁ブレーキが効いており、法面でも走行できる。コントローラーでの操作は、比較的操作简单であり、安定性が高く、身体への負荷が軽減され作業効率も高いことから、初心者や高齢者も扱いやすい。高額ではあるが、当会導入への期待は高い。



▲らじ刈るRTL-M1



▲操作方法を学んで試運転